

検査内容変更のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さてこの度、下記項目におきましては現行試薬の発売中止のため、本年 6 月 30 日（火）より同一メーカーの改良試薬に変更させていただくことに致しましたので、取り急ぎご案内させていただきます。

なお、本改良試薬では、血清で検査可能になるとともに必要検体量を大幅に減らすことが可能となりました。

誠に勝手ではございますが、事情をご賢察の上、何卒ご了承の程お願い申し上げます。

謹白

記

変更内容

● 3147 HBV-DNA定量《TaqManPCR法》

変更内容	新	旧
検体量	血清 2.2ml *1 (採血量 5.0ml)	EDTA-2K 血漿 3.5ml *1 (血清検体不可)
容器	容器番号 : 66 HIV 検査用容器	容器番号 : 135 ウイルス遺伝子(血漿)用容器
基準値	定量結果 : 2.1 Log コピー/ml 未満(定量下限) 増幅シグナル : 検出せず	定量結果 : 1.8 Log コピー/ml 未満(定量下限) 増幅シグナル : 検出せず
上限値	9.0 Log コピー/ml 以上	8.8 Log コピー/ml 以上
備考	* 1: 必ず遺伝子検査の専用検体としてご提出下さい。(同一検体で遺伝子検査以外の項目との重複は避けて下さい)	* 1: 必ず遺伝子検査の専用検体としてご提出下さい。(同一検体で遺伝子検査以外の項目との重複は避けて下さい) 血清検体は測定不可。

変更期日

● 平成 21 年 6 月 30 日(火)受付日より

専用採血管

【検体の取扱い】

- ①専用の真空採血管(容器番号:66)を使用し、採血、ご提出下さい。
 - ②採血後、4~5回静かに転倒混和し、室温にて30分~60分放置して下さい。
 - ③凝固完了を確認後、遠心機にかけ、そのまま凍結してご提出(凍結融解不可)下さい。
- ※未分離凍結検体、溶血検体では抽出効率の低下、遺伝子増幅阻害等によるデータへの影響が考えられます。



容器番号 : 66 HIV 検査用容器
採血量 : 5ml
保管方法 : 室温
有効期限 : 1年
「総合検査のご案内」116P 参照



札幌臨床検査センター株式会社
SAPPORO CLINICAL LABORATORY INC.